

●基本情報

事業名(取組名)	公共交通対策事業			評価番号	1-3-10-1	
担当課	政策企画課	係	政策企画係	<input type="checkbox"/> 予算なし		
基本計画	基本方針	【1】安全で人にやさしい快適なまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【3】道路・交通網の整備			款	【0102】総務費
	施策	【10】公共交通の充実			項	【010201】総務管理費
	主な取組	①公共交通の利便性の向上			目	【01020106】企画費
				事業	公共交通対策事業	

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	名称	
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始年度不明
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり (事業終了年度: 令和 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返し <input type="radio"/> 単年度のみ		
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		
実施形態	<input type="checkbox"/> 町単独 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県補助事業 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業概要	<p>町の公共交通の利便性の向上を図るため、学識経験者等で構成する「地域公共交通会議」を開催し、専門家のアドバイスを伺い、今後の方向性について検討する。</p> <p>また、広域幹線道路の整備のため、JR常磐線及び成田線沿線の活性化と利便性向上を目指し要望活動やキャンペーンを実施する。</p> <p>そのほか、コロナ禍における原油価格の高騰で経営状況が悪化している町に関係する交通事業者及び運輸事業者に対し、事業運営の維持又は継続を支援する。</p>		

●実施 ~DO~

事業業績	<p>利根町地域公共交通会議では、今後の町の公共交通の方向性を示す地域公共交通計画の策定について検討を行い、令和5年度及び6年度の2年間で計画を策定することとなった。</p> <p>また、地域公共交通計画の策定に関し必要な協議を行うためには、組織を地域公共交通活性化協議会とする必要があることから、新たに協議会を設置するため利根町地域公共交通活性化協議会条例を制定した。</p> <p>また、常磐線沿線市町・成田線沿線市町で構成される同盟会・協議会へ参加し、他市町との情報交換を行うと共に、JRへの要望活動などを実施した。</p> <p>新型コロナ関連では、町に関係する交通事業者及び運輸事業者に対し、事業運営の維持又は継続を支援することができた。</p>			
支出	主な歳出の節	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)
	18 負担金、補助及び交付金	8,077,000 円	1,812,000 円	4,412,000 円
	12 委託料	3,998,852 円	0 円	0 円
	10 需用費	504,625 円	47,850 円	0 円
	13 使用料及び賃借料	360,000 円	360,000 円	360,000 円
	7 報償費	86,800 円	119,200 円	82,400 円
	その他	28,085 円	342,092 円	2,210 円
事業費計	13,055,362 円	2,681,142 円	4,856,610 円	
財源	主な歳入の科目	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)
	国支出金	2,710,000 円	1,650,000 円	4,250,000 円
	県支出金	円	円	円
	受益者負担金	円	円	円
	地方債	円	円	円
	その他	円	円	円
	一般財源	10,345,362 円	1,031,142 円	606,610 円
事業費計	13,055,362 円	2,681,142 円	4,856,610 円	

●評価 ~CHECK~

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 公共交通の利便性の向上を図るためには、他市町との連携は必要不可欠ですので、各同盟会・協議会への参加は目的の達成に向け貢献できている。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 利根町地域公共交通会議設置要綱第1条にある通り、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスを実現するためには、町が主体となり事業を行うことが妥当である。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	<input type="radio"/> 余地がない <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある 理由 新たに地域公共交通計画を策定することにより、これから実施していく事業等の方向性を整理し、また、担当者が変わって場合の引継ぎの役割を果たすなど、成果を向上させることができる。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 理由 他市町との連携、地域公共交通会議の実施等による情報共有が途絶えることは事業目的達成を妨げることに繋がるため、廃止の可能性はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない 理由
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 理由 各協議会等への負担金は、情報交換や連携を図るうえで必要なものであり、不要なコストはない。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 理由

●改善 ~ACTION~

今後の方向性	継続 (<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止(終了) <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 令和5年度の取組については、現在参加している同盟会や協議会において、他市町との情報交換を行うとともに連携の強化に努める。成田線活性化推進協議会では、成田線沿線の駅周辺の清掃活動に取り組んでいくとともに、利用促進、利便性の向上に資する新たな事業について検討する。 また、町の公共交通の利便性向上を図ることを目的とした地域公共交通計画を策定するため、地域公共交通会議を開催し、専門家等のアドバイスを伺いながら公共交通の利便性向上に取り組み、令和5年度及び令和6年度の2年間で策定する。

●基本情報

事業名(取組名)		ふれ愛タクシー運行事業		評価番号	1-3-10-2
担当課		政策企画課	係	政策企画係	<input type="checkbox"/> 予算なし
基本計画	基本方針	【1】安全で人にやさしい快適なまちづくり		会計	【01】一般会計
	基本施策	【3】道路・交通網の整備		款	【0102】総務費
	施策	【10】公共交通の充実		項	【010201】総務管理費
	主な取組	②公共交通サービスの確保		目	【01020106】企画費
				事業	ふれ愛タクシー運行事業

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input type="radio"/> なし <input checked="" type="radio"/> あり	名称	利根町ふれ愛タクシー運行事業実施要綱		
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 20 年度	<input type="checkbox"/> 事業開始年度不明	
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり(事業終了年度: 令和 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し <input type="radio"/> 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託(<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他()				
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業+町事業(上乗せ) <input type="checkbox"/> その他()				
事業概要	高齢者等いわゆる交通弱者の移動手段を確保するために、自宅から目的地までをドアツードアで送迎するデマンド型乗合タクシーを運行する。 町内以外に、龍ヶ崎方面として関東鉄道竜ヶ崎駅、龍ヶ崎済生会病院、取手方面としてJAとりで総合医療センターへスポット乗り入れすることにより、利用者の利便性に配慮する。				

●実施 ~DO~

事業業績	住民の移動手段を確保するためにデマンド型乗合タクシーを運行した。 令和4年度実績 利用者数: 7,818人(1日当たり利用者数: 32.2人, 1回当たり利用者数: 2.7人) また、令和4年7月からJAとりで総合医療センターへの乗り入れを開始し、利用促進、及び利便性の向上を図った。			
支出	主な歳出の節	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)
	12 委託料	14,242,000 円	8,133,000 円	12,540,200 円
	1 報酬	3,983,239 円	4,176,810 円	4,234,561 円
	10 需用費	864,755 円	1,273,828 円	1,748,598 円
	7 報償費	482,700 円	720,300 円	0 円
	11 役務費	238,321 円	200,269 円	199,452 円
	その他	174,642 円	87,076 円	261,150 円
事業費 計		19,985,657 円	14,591,283 円	18,983,961 円
財源	主な歳入の科目	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)
	国支出金	5,762,700 円	720,300 円	0 円
	県支出金	円	円	円
	受益者負担金	2,261,000 円	2,854,800 円	2,890,600 円
	地方債	円	円	円
	その他	円	円	円
	一般財源	11,961,957 円	11,016,183 円	16,093,361 円
事業費 計		19,985,657 円	14,591,283 円	18,983,961 円

●評価 ~CHECK~

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 デマンド交通は交通弱者の移動手段の確保が目的であるため、公共交通サービスの確保に貢献している。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 デマンド交通は、町の地域の実情に沿った事業を展開していく必要があることから、町が事業主体となることが妥当である。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	<input type="radio"/> 余地がない <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある 理由 今後、ふれ愛タクシー事業のさらなる利用促進を図るため、車両へのペイントや広告の掲載などにより、向上させることができる。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 理由 デマンド交通は交通弱者の移動手段の確保が目的であるため、廃止はしない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない <input type="radio"/> 類似事業はない 理由 他の交通サービスとして、町内を巡回する福祉バス（福ちゃん号）があるが、ドア・ツー・ドアで運行するふれ愛タクシーとは運行形態が違うことから、統廃合はしない。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 理由 町の直営事業であり、人件費、燃料費など運営費用は必ず必要であるため、これ以上のコスト削減の余地はない。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	<input checked="" type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 理由 他市町村のデマンド交通の運賃を精査して金額を設定していることから、現在の負担割合は適正である。

●改善 ~ACTION~

今後の方向性	継続 (<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止(終了) <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 令和5年度令和6年度の2年間で「地域公共交通計画」を策定する中でふれ愛タクシーのあり方についても検討し、利便性の向上に努める。

●基本情報

事業名(取組名)		保健福祉センター運営事業		評価番号	1-3-10-2	
担当課		保健福祉センター	係	庶務係	<input type="checkbox"/> 予算なし	
基本計画	基本方針	【1】安全で人にやさしい快適なまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【3】道路・交通網の整備			款	【0103】民生費
	施策	【10】公共交通の充実			項	【010301】社会福祉費
	主な取組	②公共交通サービスの確保			目	【01030109】保健福祉センター費
			事業	保健福祉センター運営事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	名称			
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 27 年度	<input type="checkbox"/> 事業開始年度不明	
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり (事業終了年度: 令和 年度)		<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し	<input type="radio"/> 単年度のみ	
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営)	<input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託)	<input type="checkbox"/> 補助金等		
	<input type="checkbox"/> 町民協働	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> その他 ()	
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独	<input type="checkbox"/> 国・県補助事業	<input type="checkbox"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ)	<input type="checkbox"/> その他 ()	
事業概要	保健福祉センター利用者の送迎バスとして運行を開始し、その後、公共機関を連絡する町内巡回ルートの路線を定め、誰でも利用できる無料バスとして利用を拡大した。 現在町内全域を巡回する外回り(5便/日)、比較的用户の多い文・布川地区を巡回する内回り(6便/日)の2コースで運行している。				

●実施 ~D0~

事業業績	平成30年度に車両を増車し2台で、平日及び隔週土曜日の運行を実施している。コロナ禍による外出自粛要請などにより、利用者が減少したR3年度と比較して、少し増加している。買い物や医療機関、公共施設などへ行くために、高齢者や車を運転しない町民の移動手段として定着している。 年間利用者数 R元年度: 10,678人, R2年度: 7,315人, R3年度: 6,919人, R4年度: 7,009人				
支出	主な歳出の節	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	
	内訳	1 報酬	5,970,649 円	6,058,993 円	6,293,496 円
		10 需用費	1,346,853 円	1,572,620 円	1,752,519 円
		13 使用料及び賃借料	1,334,688 円	1,336,954 円	1,336,954 円
			円	円	円
			円	円	円
事業費計	8,652,190 円	8,968,567 円	9,382,969 円		
財源	主な歳入の科目	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	
	内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
	一般財源	8,652,190 円	8,968,567 円	9,382,969 円	
事業費計	8652190 円	8968567 円	9,382,969 円		

●評価 ~CHECK~

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献しているか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 便数は少ないものの、高齢者や車両を運転することができない方への移動手段として貢献しているといえる。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当か。	理由	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 利用料が無料で収入が見込めないことから、住民サービスの一環として町が事業運営することは妥当であると考え。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができるか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 見直す余地がある 車両台数や運転手の負担などを考慮するとこれ以上の増便は困難であり、運行時刻も利用者に定着しているので、今のところ見直す余地はないと考える。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できるか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 外出自粛要請などにより利用者数は減少していたが、令和4年は前年度に比べてやや増加した。買い物や医療機関への利用は多いため、利用者の観点から廃止・休止の可能性はないと考える。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できるか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない <input type="radio"/> 類似事業はない 他の公共交通サービスとして、ドア・ツー・ドアで運行するふれ愛タクシーがあるが、双方を上手に利用している方はいるものの、運行形態が違うことから、今のところ統廃合の可能性はないと考える。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 町の直営事業であり、人件費・燃料費などの運営費用はどうしても必要となるため、これ以上のコスト削減の余地はないと考える。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正か。	理由	<input checked="" type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 福祉バスのため利用料金は取らないことが適正であると考え。

●改善 ~ACTION~

今後の方向性	継続（ <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止（終了） <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 新たに設置された地域公共交通活性化協議会で今後「地域公共交通計画」を策定していくこととなるが、その中で福祉バスの利便性の向上についても検討していく。